

平成18年11月7日

物流連ニュースリリース

次世代エネルギー問題で環境講演会を開催

(社)日本物流団体連合会(岡部正彦 会長)は、11月30日(木)に、会員を対象とした平成18年度の環境講演会を開催する。

今年度は、現在ほぼ100パーセント石油に依存している運輸部門のエネルギーの次世代化のための将来に向けた早急な対応が「国家エネルギー戦略」等で不可欠とされている認識をふまえ、将来を展望する視点から、貨物運輸部門の大宗を占めるトラックの次世代エネルギー問題をテーマとして実施し、直近の課題として車両、施設等現在のディーゼル車用のインフラをほぼそのまま活用できる天然ガス由来の液体燃料GTLを取り上げる「トラックの燃料としてのGTL」～石油に由来しない軽油代替燃料の意義～と 少し先の課題として小泉首相も試乗された電気自動車「エリーカ」のトラックへの応用可能性を取り上げる「電気自動車技術のトラックへの応用可能性」の2つの講演を行う。

開催概要は以下の通り

1. 日 時 平成18年11月30日(木) 14:00～16:30
2. 場 所 霞ヶ関東京會館 シルバースタールーム
(千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル35階 電話 03-3581-9161)
3. 演 題・講 演 者
「トラックの燃料としてのGTL」
～石油に由来しない軽油代替燃料の意義～
(財)日本エネルギー経済研究所 鈴木研究主幹
「電気自動車技術のトラックへの応用可能性」
慶応義塾大学 環境情報学部 電気自動車研究室 清水教授
(いずれも説明1時間、質疑15分程度を予定)

以上

(連絡先)
(社)日本物流団体連合会
事務局 萩島
電話 03-3593-0139